

クラス番号	613	担当教員名	田中 千枝子
テーマ	保健医療領域におけるソーシャルワークの事例研究		
著書・論文 研究課題等	保健医療ソーシャルワーク論 劉草書房 (2014) 社会福祉の展望 誠信書房 (2014) 生活困窮者支援相談員テキスト 中央法規 (2014) 新社会福祉士相談援助演習 中央法規 (2014) 新医療ソーシャルワーク実践専門 相川書房 (2014) 福祉介護のための質的 研究法 中央法規 (2012) <研究テーマ> 保健医療領域のソーシャルワーク スーパービジョン 意思決定支援		

## ゼミナール概要

キーワード：ソーシャルワーク スーパービジョン ストレngths視点 意思決定支援

目的、内容、方法等：

めまぐるしく変化する保健医療領域を中心に、実際地域で生活していく中で生じた生活課題に取り組んでいる当事者や家族の状況を知り、そこに介入するソーシャルワークの実際をイメージし、利用者の意思決定を大切に同行し実践できるための基礎を身に着けることを目的にする。

保健医療領域を中心に、地域に展開する生活・就労・意思決定支援が考えられる事例をもとに、その事例が持つ問題背景や問題構造、当事者や家族の生活障害の状況を調べながら、必要な社会制度や社会資源などの知識を得て、支援のアセスメントやプランニングをたてる。またフィールドワークや現場のSWや当事者をゲストスピーカーに招くことによって、その実際と今後の課題についてリアリティーを持って理解できるようにする。

事例の提示により必要な制度や資源、またそこから生じる社会問題などについて、レポートを行う。同時にフィールドワークやゲストスピーカー等によって、現場のリアリティーのある理解に結び付ける。

授業計画：

前期開始前に4年生と一緒にゼミ合宿を行い、ゼミの全体像をつかむ

前期初めは取り上げる事例を教員と一緒に作っていく作業を行う。その途中でフィールドワークやゲストスピーカーとのコンタクトや訪問・見学等を担当者が行なっていく。そのうえでロールプレイによるインテーク面接を実施し、アセスメントとそれにもとづくプランニングを実施する。ロールプレイでは、コミュニケーション技法やアップリング、グループワーク、カンファレンス等個別援助技術のみならずグループやプロジェクトを動かすメゾレベルの技術も体験する。

前期後半は前半に比較してさらに困難な事例を設定し、制度や政策、地域システムなどマクロレベルを視野に入れた介入を考えられるように、プロセスを経験する。

夏休み中にゼミ合宿を実施し、自分の興味領域を絞りながら卒論のテーマと研究方法について検討する場を設ける。そして地域の医療福祉実践や医療福祉にとって重要な課題場面等を見学し、カンファレンスやワークショップ等を見学・経験することで、保健医療領域のソーシャルワーク実践の幅の広さと可能性を感じられるようにする。

後期前半は実習セメスターであり、参加が数名であることが続くため、出席学生の実習等においてであった事例を報告してもらい、その事例の分析と研究を出席者どうしで行う。

後期後半は実習で体験した事例の分析・研究をつづけながら、任意実習や任意見学の相談を行い自分の就労に結び付くように個別の学習課題を設定し、活動を実施する。また国家試験対策や就職対策に関するグループ活動を奨励し、その支援を行う。

## 担当教員からのメッセージ

せっかく福祉大で医療福祉の勉強をしているので、それが将来の仕事や生き方に結び付く形の勉強になればいいなあと考えています。私はPでもMでも、地域でも、就労でも権利擁護でも、虐待でもがんでも、地域で様々な健康や命の問題状況を抱えて闘っているクライアントシステム（かたまり）の支援に役立つ学習をしたいと思っていますので、幅広い支援の専門家になりたい人たちと多く出会いたいです。どうぞよろしくお願ひします！！